



音楽集会 5年生

今日19日(木)は、音楽集会がありました。残暑の中でしたが、5年生は、音楽の時間に練習した成果を発表してくれました。まずは、リコーダーで「小さな約束」を演奏してくれました。この曲は、音楽の時間にグループで聴き合っ、タンギングや滑らかに音を繋げること、互いの音を聴いて合わせるなど頑張ったそうです。演奏は、5年生の息がぴったりと合っ、互いの音を聴き、音の重なり合いを感じ取りながら演奏していることが伝わってきました。フロアーの子供たちも音を合わせるよさを感じ取りながら聴いていました。次に、「いつでもあの海は」を合唱してくれました。この曲も2つの旋律が呼び掛け合ったり、同じリズムで重なったりして、音の重なりを楽しむことができるそうです。5年生は、音の重なり方の違いをどう生かしていくのか、事前に学級で話し合っ工夫したそうです。5年生が歌い出すと、曲の場面ごとの旋律の重なり方を工夫して歌っていることが伝わってきました。「いつでもあの海は 僕の心にどんな時も愛と 勇気をくれる」という場面では、私もよく行く海の情景を思い浮かべました。それは、5年生が自分たちで工夫したことにより、聴く者の心を海の世界に誘ってくれるからだと思いました。音楽専科の力田先生によると、「練習を重ねるごとに、リコーダーの音が揃ってきました。学級や個人での努力の成果だと思います。合唱も聴いている人へ歌の想いが伝わる演奏でした。」ということでした。

最後に音楽委員会の子供から、リズム当てクイズがありました。簡単な楽譜を、スクリーンに映し出し、実際に音楽委員会の子供が、タンバリンで演奏し、そのリズムが合っているかの○×ゲームです。子供たちもリズムをしっかりと聴き、クイズの結果発表にわくわくしていました。

感想交流では、2年生の子供は「『👁️帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、5年生の発表もよかったけど、音楽委員会のクイズもみんなで楽しめたからです。」、4年生の子供は「『👁️帯西ブルー』です。わけは5年生が素敵な音楽の音色をつくっていてすごいと思ったし、私も素敵な音色で音楽会では発表しようと思ったからです。」と述べ、そのお返しとして5年生の子供は「僕たちの演奏とか曲のおかげでみんなが音楽のことが好きになってくれたので嬉しかったです。」と述べていました。

5年生は、確実に来年度の最高学年に向けて、自分たちを成長させています。今回は、仲間と力を合わせて工夫したことや、音楽の特徴を生かした表現の工夫など随所に、成長を感じました。何より「音楽は楽しい」ことを再確認させてくれました。5年生の皆さん、潤いのある時間を提供していただきありがとうございました。

また、裏方で集会を支えてくれた音楽委員会の「リズム当てクイズ」などの小さな努力と工夫が全校の子供たちが音楽に親しみ、音楽に対する感性を培っていることに、感謝しています。

今回は今月の歌「気球に乗ってどこまでも」を私がピアノ演奏するというサプライズを試みましたが、途中演奏が途切れてしまいました。しかし、子供たちの歌声でどうにか最後まで弾けました。子供たちの優しさにも感謝しています。

